

## 【エクアドル経済:2008年4月】

### 1. 概要

9日:エクアドル石油公社は、地下埋蔵天然ガス探査及び、ガスパイプライン建設の契約に署名。

10日:国際通貨基金(IMF)は、当国の今年の経済成長率2.9%の見込みと発表。

:工業競争力省事務次官にアレックス・ディミトリ・バレンシア氏が就任。

:エクアドル社会保障庁(IESS)は電力エネルギー部門へ578百万ドルを投資すると発表。

12日:エクアドル中央銀行は、2007年の在外エクアドル人からの家族送金が、3,087.9百万ドルに達すると発表。

15日:農牧省はバナナの最低価格を3.75ドルから4.7ドルに変更すると発表。

18日:制憲議会は、鉱山制憲法令を採択。

23日:政府は米・トウモロコシ・牛乳・バナナの価格を固定。

### 2. 経済成長率

10日、国際通貨基金(IMF)は、アメリカ合衆国の景気後退の影響を受け、2008年の経済成長率は2.9%に留まるであろうと予測した。前年の経済成長率は2.65%(エクアドル中央銀行発表)であった。

### 3. インフレ率

15日、経済社会省は、国際市場の圧力を受け、2008年のインフレ率が5.0%を越えると予測した。

### 4. 石油・天然ガス

9日、ペトロコメルシオ社(PETROCOMERCIO)は Caminosca 社と、地下に埋蔵する天然ガスの調査及び、ガスパイプライン建設の契約に署名。天然ガス調査には650万ドルを拠出し、半年間実施する予定である。また、105万ドルをかけ、天然ガス採掘地モンテベルデから、供給地チヨリジョまでのガスパイプラインの建設を行うと発表した。パイプライン完成は2010年の予定である。

### 5. 鉱山

18日、制憲議会において、鉱山制憲法令(Mandato Minero)が承認された。この法令において鉱山セクターの約80%に相当する約3,100の鉱山利権が国有化された。同法令では180日以内に新たな法的枠組を制定すると定めている。

### 6. 海外送金

12日、エクアドル中央銀行は、2007年の在外エクアドル人からの家族送金が、3,087.9百万ドル(前年比の5.5%増、前々年比の18.6%増)に達すると発表した。中銀は、この家族送金の増大の背景には、スペインへの移住者の増加、ユーロ高の影響があるかと分析している。

### 7. 貿易

15日、農牧省はバナナ1箱(43lb)の最低価格を3.75ドルから4.7ドルに上げ、この価格を当面三ヶ月維持すると発表。2008年のバナナ総輸出額15億ドルを見込んでいる。

### 8. 食糧

23日、政府は政令(Decreto Ejectivo 1042)を以て、米・トウモロコシ・牛乳・バナナの価格を上

げ固定した。牛乳:0.6ドル/リットル、輸出用米31.25ドル/キントル、未脱穀米:23~28ドル/キントル、トウモロコシ12.5ドル/キントル、バナナ4.7ドル/1箱(43lb)である。

## **9. 自然災害**

住宅都市開発省(MIDUVI)は、政府が2007年のトゥングラワ火山地震(Tungurahua)で被災した553家族に対し、家を提供したと発表した。投資額は840百万ドルに相当する。

**※以上は、当地新聞情報をとりとめたものです。**